

第5号様式（第10条関係）

① 炉・厨房設備・温風暖房機・**ボイラー**
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

② 〇〇年〇月〇〇日						
③ 相楽中部消防組合消防本部 消防長様						
④ 届出者 住所 京都府〇〇市〇〇町〇番地〇 (電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇番) 氏名 〇〇 〇〇						
防火対象物	所在地	⑤ 京都府木津川市城山台〇丁目〇番地〇 電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇番				
	名称	⑥ (株)〇〇〇〇		主要用途	⑦ 工場	
設置場所	用途	⑧ 〇〇〇	床面積	⑨ 〇〇 m ²	消防用設備等又は 特殊消防用設備等	⑫ ABC粉末消火器 10型 1本
	構造	⑩ RC造	階層	⑪ 〇階		
届出設備	設備の種類	⑬ 鉄鋼溶解炉				
	着工（予定）年月日	⑭ 〇〇年〇〇月〇〇日		竣工（予定）年月日	⑭ 〇〇年〇〇月〇〇日	
	設備の概要	⑮ 別紙のとおり				
	使用する燃料・熱源・加工液	種類	使用量			
		⑯ 重油	⑰ 180リットル/h			
安全装置	⑱ 感震器、安全弁					
取扱責任者の職氏名		⑲ (株)〇〇〇 〇〇部 〇〇 〇〇				
工事施工者	住所	⑳ 京都府〇〇市〇〇町〇番地〇 電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇番				
	氏名	㉑ (株)〇〇〇 〇〇部 〇〇 〇〇				
※ 受付欄			※ 経過欄			

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
- 4 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 当該設備の設計図書を添付すること。

炉・厨房設備等 設置届出書 記入要領

項 目	記 入 要 領
① 届出種別	届出をする設備を囲ってください。
② 年月日	届出書を提出する日を記入してください。
③ 宛先	消防長宛となります。
④ 届出者	当該設備を設置しようとする者の住所、電話番号、氏名を記入してください。 届出者が法人の場合は、法人の住所、電話番号、名称、代表者の職、氏名を記入してください。
⑤ 所在地	当該設備を設置する防火対象物の所在地及び電話番号を記入してください。
⑥ 名称	当該設備を設置する防火対象物の名称を記入してください。
⑦ 主要用途	当該防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途区分により「工場」、「事務所」等の要領で記入してください。
⑧ 用途	当該設備を設置する場所の用途を記入してください。
⑨ 床面積	当該設備の設置に要する床面積を記入してください。
⑩ 構造	当該設備を設置する場所の主要構造を記入してください。
⑪ 階層	当該設備を設置する階層を記入してください。 なお、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入してください。
⑫ 消防用設備等又は特殊消防用設備等	当該設備を設置することにより設置が必要となる消防用設備又はそれに代えて設置する特殊消防用設備等を記入してください。
⑬ 設備の種類	設備の種類を記入してください。 例) 鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等
⑭ 着工・竣工（予定）年月日	当該設備の着工・竣工年月日（又は予定年月日）を記入してください。
⑮ 設備の概要	設備の概要を記入してください。 なお、欄内に書き込めない場合は別紙に記載して添付してください。
⑯ 種類	使用する燃料・熱源・加工液の種類を記入してください。
⑰ 使用量	使用する燃料・熱源・加工液の使用量を記入してください。
⑱ 安全装置	安全装置の種類を記入してください。
⑲ 取扱責任者の職氏名	当該設備の取扱責任者の職氏名を記入してください。
⑳ 住所	当該設備の工事施工者の住所及び電話番号を記入してください。 法人の場合は、法人の所在地及び電話番号を記入してください。
㉑ 氏名	当該設備の工事施工者の氏名を記入してください。 法人の場合は、法人の名称、代表者の職、氏名を記入してください。